

ネット講座で就業支援



学生やフリーター、ニートといった若年層にインターネットを介して学習機会を提供し、社会参加意欲を高めてもらいながら、職業能力向上を目指す「若者未来eラーニング事業」がスタートした。和歌山、富山、世田谷、東京、徳島、高知の各インターネット市民塾が取り組んでおり、自宅のパソコンから経済の基礎や地域社会、ビジネスマナーなどを学べるのが特徴。若年層の就業の一助となるかが注目されている。

若者未来eラーニング事業は、フリーターやニート、また、引きこもりの人を対象に、働く意欲を高めてもらい、社会の一員として活動するきっかけづくりが目的。また、一講座十五分

程度におさえ、飽きさせないようにしている。

内容は「セルフカウンセリングへの引きこもり」「国アイランドリーグ誕生物語」「和歌浦塾」「世界遺産・熊野健康村に学ぶ」「自己表現の技法」など。それぞれ各インターネット市民塾が提供し

若者が生き生き活動している姿を紹介している。

市民塾の梶谷昭治さんは「講座を見て、和歌浦で漁師になつて欲しいというわけでなく、こうしてがんばっている人たちを紹介することで、若者が社会にできるきっかけ」との思いを込めた。

各コースには導入部として、「あなたの心の色を覗く」「新しい自分を創ろう」の二講座を開設。さらに、中学生対象の「14歳の挑戦から」、高校生対象の「先輩から伝え

など五講座を用意している。

中でも、「新しい自分を創ろう」では、自分を確立した人として、志村

「かけに」との思いで、それに向け、「まず、受講を」と呼びかけている。

基本コースとして三講座を受講した後、各コースで

にできてもらうのが重要」と説明。講座は登録さえすればだれでも受講できる。現時点では、フリーターやニート、引きこもりの人たちの程度を受講してもらえるか分からないが、とにかく、

若者未来eラーニング

社会参加のきっかけに

ているが、和歌山は「地域から学ぶコース」に特化した。「和歌浦塾」では、和歌や遊覧船の様子を、「緑の雇用体験学習」で、中辺路の山で林業材」「情報リテラシー」

たい。大学生、一般向けんや松井秀敏、イチロイを取り上げ、それぞれに、まよめの講座を受ける。現時点でも全講座を受講できるが、まだ試験運用のため、終了テストのコーナーはオープンしていない。

また、「今の中高生は体が動かす体験が少ない。考える前に体が動かないとしようもなし」と前置きし、「体を動かす前段階として、講座をきっかけに活動の場

「世の中にはたくさんのお仕事があり、いろんな楽しいことがあると知ってくれば嬉しい。行動する中から何が生まれる」と期待をかけている。詳細は若者未来eラーニングHP (<http://future-youth.jp/>)、<http://future-youth.com/>)。